

国民健康保険団体連合会 における 審査業務の現状

平成22年5月28日

国保連合会は、診療情報の多いレセプトの請求件数が急増する中で、早くからIT化に取り組み、組織(審査業務)のスリム化を行っています。

○ 限られた職員で効果的・効率的な審査を行なっています。

・レセプト審査件数の増加 (医科+歯科+調剤)

平成11年度 5億9千万枚 ⇒ 平成21年度 9億3千万枚

・高齢者のレセプトは診療情報が多いため、審査が難しくなります。

レセプト1件当り費用額・・・国保22,750円、後期高齢者37,050円(平成20年度)

・審査担当職員数(パート等含む)

平成11年度 3,691人 ⇒ 平成21年度 3,474人

・審査件数100万件に対する審査担当職員数

平成11年度 6.20人 ⇒ 平成21年度 3.70人

国保連合会の職員数等推移

取扱件数
(万件)

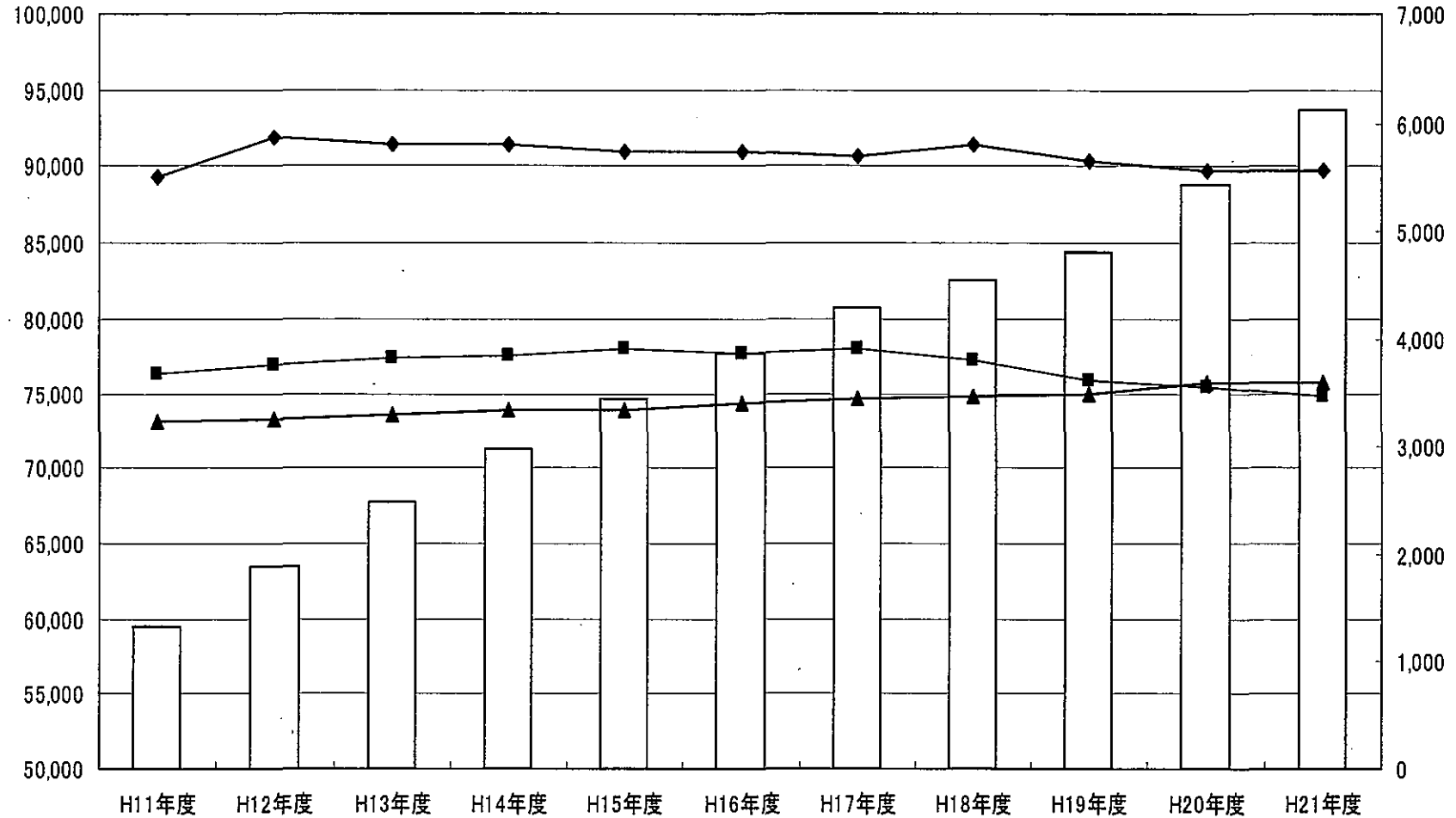
レセプト取扱件数

 正規職員数

 審査担当職員(パート等含む)

 審査委員数

人数(人)



・介護保険法施行

・障害者自立支援
 ・後期高齢者医療制度行
 ・出産育児一時金直接支払制度開始
 ・特定健診・保健指導施行

